キャッシュカード規定

１．（カードの利用）

普通預金（総合口座およびカードローン取引の普通預金のほか利息を付さない旨の約定のある普通預金を含みます。以下同じです。）について発行したキャッシュカード（以下これらを「カード」といいます。）は、当該預金口座について、次の場合に利用することができます。

①当金庫および当金庫がオンライン現金自動預金機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等（以下「預入提携先」といいます。）の現金自動預金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。）を使用して普通預金（以下これらを「預金」といいます。）に預入れをする場合

②当金庫および当金庫がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等（以下「支払提携先」といいます。）の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。）を使用して預金の払戻しをする場合

③当金庫および支払提携先のうち当金庫がオンライン現金自動支払機の共同利用による振込業務を提携した金融機関等（以下「振込提携先」といいます。）の自動振込機（振込を行うことができる現金自動預入払出兼用機を含みます。）を使用して振込資金を預金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合

なお、本号および前２号の現金自動預金機、現金自動支払機および自動振込機を総称して以下「ＡＴＭ」といいます。

④その他当金庫所定の取引をする場合

２．（ＡＴＭによる預金の預入れ）

（１）ＡＴＭを使用して預金に預入れをする場合には、ＡＴＭの画面表示等の操作手順に従って、ＡＴＭにカードまたは通帳を挿入し、現金を投入して操作してください。

（２）ＡＴＭによる預入れは、ＡＴＭの機種により当金庫または預入提携先所定の種類の紙幣および硬貨に限ります。また、１回あたりの預入れは、当金庫または預入提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。

３．（ＡＴＭによる預金の払戻し）

（１）ＡＴＭを使用して預金の払戻しをする場合には、ＡＴＭの画面表示等の操作手順に従って、ＡＴＭにカードを挿入し、届出の暗証番号および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。

（２）ＡＴＭによる払戻しは、ＡＴＭの機種により当金庫または支払提携先所定の金額単位とし、１回あたりの払戻しは、当金庫または支払提携先所定の金額の範囲内とします。なお、１日あたりの払戻しは当金庫所定の金額の範囲内とします。

（３）前項にかかわらず、当金庫および支払提携先の支払機による１日あたりの払戻しについて当金庫が本人から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の金額の範囲内とします。

ただし、届出の金額は当金庫所定の金額の範囲を超えることはできません。

（４）当金庫および支払提携先のＡＴＭによる１日あたりの払戻回数について当金庫が本人から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の回数の範囲内とします。

ただし、届出の回数は当金庫所定の回数の範囲を超えることはできません。

（５）ＡＴＭを使用して預金の払戻しをする場合に、払戻請求金額と第５条第２項に規定するATM利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。

４．（ＡＴＭによる振込）

（１）ＡＴＭを使用して振込資金を預金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、ＡＴＭの画面表示等の操作手順に従って、ＡＴＭにカードを挿入し、届出の暗証番号その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における預金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。

（２）前項の振込依頼をする場合における１回あたりの振込は、当金庫または振込提携先所定の金額の範囲内とします。なお、１日あたりの振込は当金庫所定の金額の範囲内とします。
（３）前項にかかわらず、第１項の振込依頼をする場合における当金庫および振込提携先のＡＴＭによる１日あたりの振込について当金庫が本人から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の金額の範囲内とします。
ただし、届出の金額は当金庫所定の金額の範囲を超えることはできません。

（４）第１項の振込依頼をする場合における当金庫および振込提携先のＡＴＭによる１日あたりの振込回数について当金庫が本人から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の回数の範囲内とします。
ただし、届出の回数は当金庫所定の回数の範囲を超えることはできません。
（５）ＡＴＭを使用して振込をする場合、振込金額と振込手数料（消費税を含む。以下、同じ。）金額およびATM利用手数料金額の合計額が、払戻すことのできる金額をこえるときは、その振込はできません。
（６）次のお客様は、振込機でのカードによる振込の限度額を「０円」とさせていただきます。
・７０歳以上、かつ過去１年間、ＡＴＭでカードによる振込をされていないお客様（振込をされていない口座に対して利用制限を実施します。）
なお、利用制限は、当金庫所定の方法による届出を受けた場合には解除します。

５．(ATM利用手数料)
（１）ＡＴＭを使用して預金に預入れをする場合には、当金庫または預入提携先所定のＡＴＭの利用に関する手数料（消費税含む。以下同じ。）をいただきます。
（２）ＡＴＭを使用して預金の払戻しをする場合には、当金庫または支払提携先所定のＡＴＭの利用に関する手数料（前項の手数料とこの手数料を総称して、以下「ATM利用手数料」といいます。）をいただきます。
（３）ATM利用手数料は、預金の預入れおよび払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その預入れ・払戻しをした預金口座から自動的に引落します。なお、預入提携先または支払提携先のATM利用手数料は、当金庫から預入提携先または支払提携先に支払います。
（４）振込手数料（消費税含む。以下同じ。）は、振込資金の預金口座からの払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その払戻しをした預金口座から自動的に引落します。なお、振込提携先の振込手数料は、当金庫から振込提携先に支払います。

６．(代理人による預金の預入れ・払戻しおよび振込)
（１）代理人（本人と生計をともにする配偶者１名に限ります。）による預金の預入れ・払戻しおよび振込の依頼をする場合には、本人から代理人の氏名を届出てください。この場合、当金庫は代理人のためのカードを発行します。
（２）代理人カードにより振込の依頼をする場合には、振込依頼人名は本人名義となります。
（３）代理人のカードの利用についても、この規定を適用します。

７．（ＡＴＭ故障時等の取扱い）
（１）停電、故障等によりＡＴＭによる取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当金庫本支店の窓口でカードにより預金に預入れをすることができます。
（２）停電、故障等によりＡＴＭによる取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当金庫がＡＴＭ故障時等の取扱いとして定めた金額を限度として当金庫本支店の窓口でカードにより預金の払戻しをすることができます。
（３）前２項による預入れまたは払戻しをする場合には、カードを提出し、当金庫所定の入金票にカードの口座番号、氏名、金額を記入のうえ、または当金庫所定の払戻請求書にカードの口座番号、氏名、金額を記入のうえ、当金庫所定の手続に従ってください。この場合、払戻請求書に住所、電話番号等の記入を求めることがあります。

（４）停電、故障等によりＡＴＭによる取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、前２項によるほか振込依頼書を提出することにより振込の依頼をすることができます。

８．（カードによる預入れ・払戻し金額等の通帳記入）

カードにより預入れた金額、払戻した金額、ATM利用手数料金額または振込手数料金額の通帳記入は、通帳が当金庫のＡＴＭで使用された場合または当金庫本支店の窓口に提出された場合に行います。また、窓口でカードにより取扱った場合にも同様とします。なお、預入れまたは払戻した金額とATM利用手数料金額および振込手数料金額は別に通帳に記入します。

９．（カード・暗証番号の管理等）

（１）当金庫は、ＡＴＭの操作の際に使用されたカードが、当金庫が本人に交付したカードであること、および入力された暗証番号と届出の暗証番号とが一致することを当金庫所定の方法により確認のうえ預金の払戻しを行います。当金庫の窓口においても同様にカードを確認し、払戻手続きに使用された暗証番号と届出の暗証番号との一致を確認のうえ取扱いをいたします。

（２）カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証番号は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人から当金庫に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる預金の払戻し停止の措置を講じます。

（３）カードの盗難にあった場合には、当金庫所定の届出書を当金庫に提出してください。

10．（偽造カード等による払戻し等）

偽造または変造カードによる払戻しについては、本人の故意による場合または当該払戻しについて当金庫が善意かつ無過失であって本人に重大な過失があることを当金庫が証明した場合を除き、その効力を生じないものとします。

この場合、本人は、当金庫所定の書類を提出し、カードおよび暗証番号の管理状況、被害状況、警察への通知状況等について当金庫の調査に協力するものとします。

11．（盗難カードによる払戻し等）

（１）カードの盗難により、他人に当該カードを不正使用され生じた払戻しについては、次の各号のすべてに該当する場合、本人は当金庫に対して当該払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額の補てんを請求することができます。

①カードの盗難に気づいてからすみやかに、当金庫への通知が行われていること

②当金庫の調査に対し、本人より十分な説明が行われていること

③当金庫に対し、警察署に被害届を提出していること、その他の盗難にあったことが推測される事実を確認できるものを示していること

（２）前項の請求がなされた場合、当該払戻しが本人の故意による場合を除き、当金庫は、当金庫へ通知が行われた日の３０日（ただし、当金庫に通知することができないやむを得ない事情があることを本人が証明した場合は、３０日にその事情が継続している期間を加えた日数とします。）前の日以降になされた払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額（以下「補てん対象額」といいます。）を補てんするものとします。

ただし、当該払戻しが行われたことについて、当金庫が善意かつ無過失であり、かつ、本人に過失があることを当金庫が証明した場合には、当金庫は補てん対象額の４分の３に相当する金額を補てんするものとします。

（３）前２項の規定は、第１項にかかる当金庫への通知が、盗難が行われた日（当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難カード等を用いて行

われた不正な預金払戻しが最初に行われた日。）から、２年を経過する日後に行われた場合には、適用されないものとします。

（４）第２項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当金庫が証明した場合には、当金庫は補てん責任を負いません。

①当該払戻しが行われたことについて当金庫が善意かつ無過失であり、かつ、次のいずれかに該当する場合

Ａ　本人に重大な過失があることを当金庫が証明した場合

Ｂ　本人の配偶者、二親等以内の親族、同居の親族、その他の同居人、または家事使用人(家事全般を行っている家政婦など。)によって行われた場合

Ｃ　本人が、被害状況についての当金庫に対する説明において、重要な事項について偽りの説明を行った場合

②戦争、暴動等による著しい社会秩序の混乱に乗じまたはこれに付随してカードが盗難にあった場合

12.（カードの紛失、届出事項の変更等）

カードを紛失した場合または氏名、代理人その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに本人から当金庫所定の方法により当金庫に届出てください。

13.（カードの再発行等）

（１）カードの盗難、紛失等の場合のカードの再発行は、当金庫所定の手続をした後に行います。この場合、照会状を発送することがあります。

（２）カードを再発行する場合には、当金庫所定の再発行手数料をいただきます。

14.（ＡＴＭへの誤入力等）

（１）ＡＴＭの使用に際し、金額等の誤入力により発生した損害については、当金庫は責任を負いません。なお、預入提携先のＡＴＭ、支払提携先のＡＴＭ、振込提携先のＡＴＭを使用した場合の預入提携先、支払提携先または振込提携先の責任についても同様とします。

（２）カードによる窓口での預金の預入れまたは払戻しをする際に、当金庫所定の入金票または払戻請求書への金額等の誤記入により発生した損害については、当金庫は責任を負いません。

15.（解約、カードの利用停止等）

（１）預金口座を解約する場合またはカードの利用を取りやめる場合には、そのカードを当店に返却してください。また、当金庫普通預金規定により、預金口座が解約された場合にも同様に返却してください。なお、未処理取引のある場合は、その処理が終了するまで解約を延期させていただく場合があります。

（２）カードの改ざん、不正使用など当金庫がカードの利用を不適当と認めた場合には、その利用をおことわりすることがあります。この場合、当金庫からの請求がありしだい直ちにカードを当店に返却してください。

（３）次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当金庫の窓口において当金庫所定の手続きにより停止を解除します。

①第 16 条に定める規定に違反した場合

②預金口座に関し、最終の預入れまたは払戻しから当金庫が別途表示する一定の期間が経過した場合

③カードが偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当金庫が判断した場合

16.（譲渡、質入れ等の禁止）

このカードおよび契約上の地位その他このカードにかかるいっさいの権利およびカードは、譲渡、質入れその他第三者の権利を設定すること、または第三者に利用させることはできません。

17.（通知等）

届出のあった氏名、住所にあてて当金庫が通知または送付書類を発送した場合には、延着しまたは到達しなかったときでも通常到達すべき時に到達したものとみなします。

また、お客様が正当な理由なく、意思表示の通知が到達することを妨げたときも、その通知は通常到達すべきであった時に到達したものとみなします。

18.（規定の適用）

この規定に定めのない事項については、当金庫普通預金規定および振込規定により取扱います。

19.（規定の変更）

（１）この規定の各条項その他条件は、金融情勢その他諸般の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、ホームページその他相当の方法で変更内容及び変更日を公表することにより、変更できるものとします。

（２）前項の変更は、公表の際に定める相当の期間を経過した日から適用されるものとします。

以　上

（2020.04.01）